



QR MATE

USER MANUAL

QR Mate

ユーザーマニュアル

全機能の詳細解説と、機能ごとのユースケースをまとめたリファレンスです。
目的の章から読み進めてください。



目次

I	 データ入力 QRコードのもとになるデータを表に入力する	5
II	 デザイン(スタイル設定) QRコードの色・形・ロゴを設定する	15
III	 拡張設定(行ごとのスタイル) 行単位でデザインを変える	21
IV	 出力(エクスポート) QRコード画像をまとめて書き出す	23
V	 環境設定 テーマなど、画面表示の設定	28
VI	 付録 データ形式・制限事項・よくある質問	30

QR Mate の概要

QR Mate は、URL・Wi-Fi・連絡先の QR コードを、表計算ソフトのような感覚でまとめて作成できる Windows 向けデスクトップアプリです。QR コード生成から画像の書き出しまで、すべての処理が PC 内で完結し、入力したデータが外部のサーバーへ送信されることはありません。



スプレッドシート形式の一括入力

Excelライクな操作で、数十件～数百件のデータを一気に入力できます。



ローカル完結・オフライン動作

インターネット接続不要。生成処理も保存もすべてPC内で完結します。



自由なスタイルカスタマイズ

色・形状・グラデーション・中央ロゴまで、細部まで設定できます。

対応する3つのデータタイプ



URL

WebサイトのURL



Wi-Fi

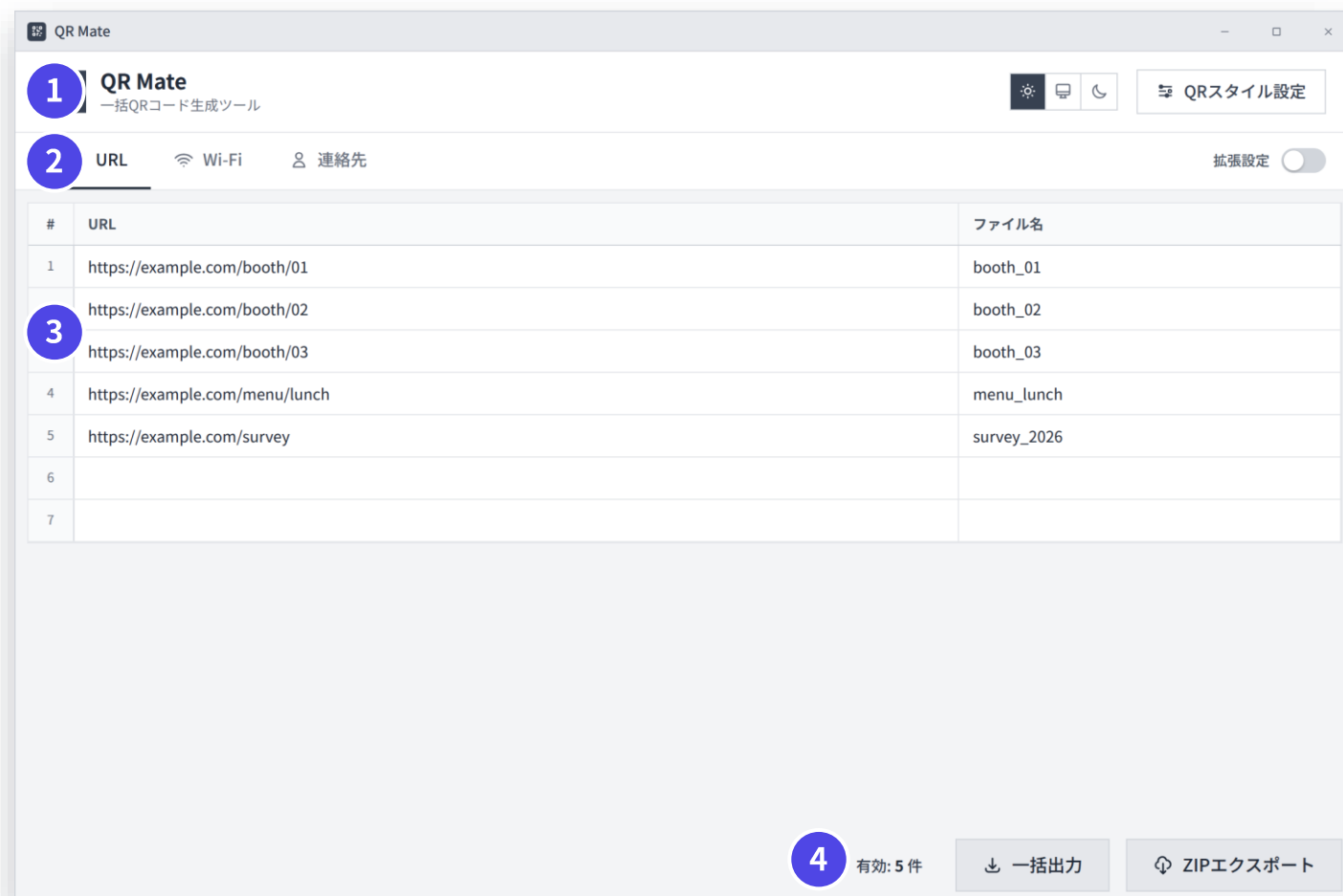
SSID・パスワード・セキュリティ



連絡先

電話番号・メール・SMS

画面の見方



単一画面+モーダル構成で画面遷移はなく、メニューバーやサイドバーも持ちません。

1 ヘッダー

アプリ名、テーマ切り替え、QRスタイル設定ボタン

2 タブ + 拡張設定

データ種類の切り替えと、行別スタイル表示のON/OFF

3 データ入力エリア

スプレッドシート形式の表。QRコードのもとになるデータを入力

4 エクスポートバー

有効件数の表示と、一括出力・ZIPエクスポートボタン

01

データ入力

QRコードのもとになるデータを、スプレッドシート形式の表に入力する方法を解説します。



3種類のデータタイプ

画面上部のタブで切り替えます。タブごとに入力する列が変わり、それぞれのタブで入力したデータは、タブを切り替えても失われません。

タイプ	入力列	主なユースケース
URL	URL / ファイル名	Webサイト・フォーム・SNSアカウントへの誘導
Wi-Fi	SSID / パスワード / セキュリティ / ファイル名	来店客・来場者向けのWi-Fi接続案内
連絡先	種別(電話/メール/SMS) / 連絡先 / ファイル名	名刺・問い合わせ窓口・サポート窓口の案内

こんな時に便利



1つのアプリで3種類のQRコードを使い分けたい方に最適です。「今日はイベント受付用のURL、明日は会場Wi-Fi案内」といった具合に、タブを切り替えるだけで用途別のデータを管理できます。

各タイプの詳しい入力方法は、次のページから解説します。

URL QRコードの入力

URL列にWebサイトのアドレスを入力

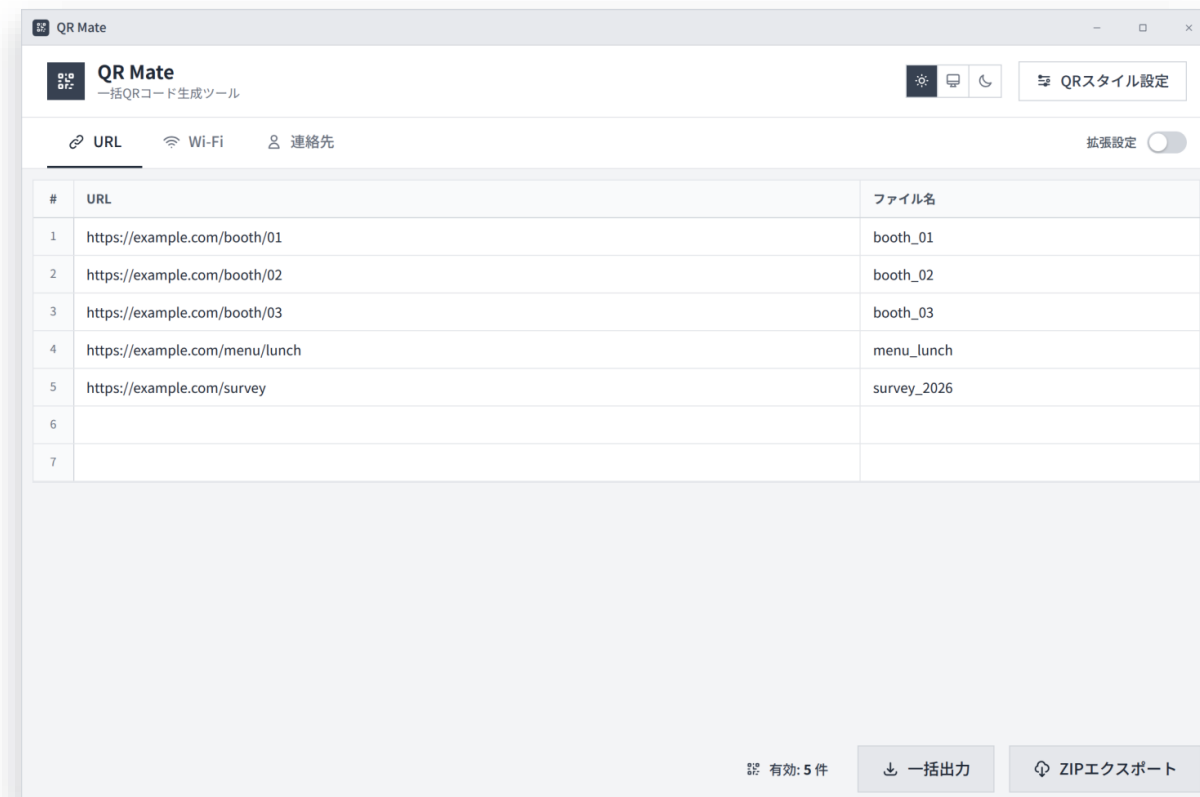
入力した値がそのままQRコードにエンコードされます。

ファイル名列で出力時の名前を指定

拡張子は不要。「booth_01」のように分かりやすい名前をつけます。

URLとファイル名が揃うと有効行に

両方入力された行だけが出力対象としてカウントされます。



こんな時に便利

展示会の各ブース紹介ページやSNSアカウントなど、複数のリンク先を一気にQRコード化したい場面で活躍します。

Wi-Fi QRコードの入力

SSID・パスワードを入力

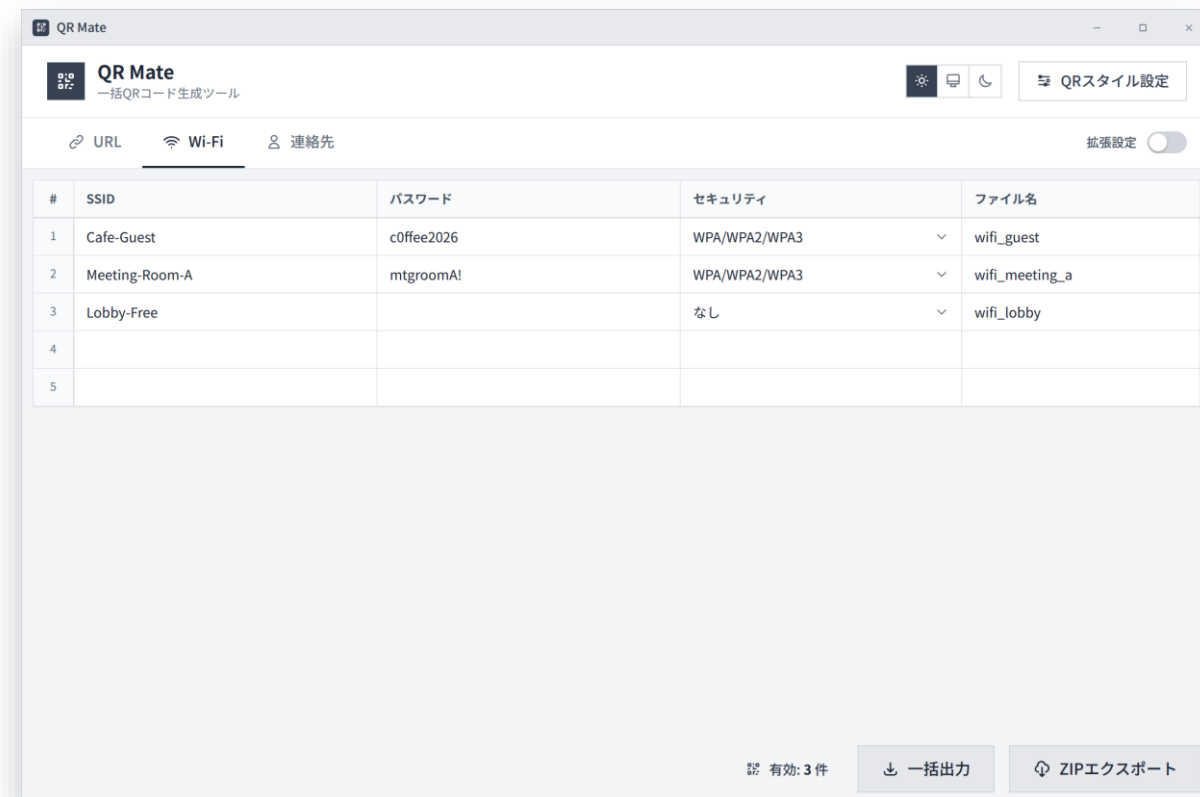
ネットワーク名と接続パスワードを列に入力します。

セキュリティ種別はドロップダウンで選択

WPA/WPA2/WPA3・WEP・なし、の3択。表記を覚える必要はありません。

特殊文字は自動でエスケープ

SSID・パスワード中の記号は、規格に沿って自動処理されます。



The screenshot shows the QR Mate application window. The title bar says "QR Mate". The main header has the QR Mate logo and the text "一括QRコード生成ツール". There are icons for settings, help, and a dark mode toggle, along with a "QRスタイル設定" button. Below the header, there are tabs for "URL", "Wi-Fi", and "連絡先". The "Wi-Fi" tab is selected. A table with 5 rows and 5 columns is shown. The columns are labeled "#", "SSID", "パスワード", "セキュリティ", and "ファイル名". The first three rows contain data: Row 1: "1", "Cafe-Guest", "c0ffee2026", "WPA/WPA2/WPA3", "wifi_guest"; Row 2: "2", "Meeting-Room-A", "mtgroomA!", "WPA/WPA2/WPA3", "wifi_meeting_a"; Row 3: "3", "Lobby-Free", "", "なし", "wifi_lobby". Rows 4 and 5 are empty. At the bottom right, there is a status bar showing "登録 有効: 3 件" and two buttons: "一括出力" and "ZIPエクスポート".

#	SSID	パスワード	セキュリティ	ファイル名
1	Cafe-Guest	c0ffee2026	WPA/WPA2/WPA3	wifi_guest
2	Meeting-Room-A	mtgroomA!	WPA/WPA2/WPA3	wifi_meeting_a
3	Lobby-Free		なし	wifi_lobby
4				
5				

こんな時に便利

カフェや宿泊施設のゲスト向け案内、会議室ごとの接続案内など、スキャンするだけで繋がる案内カードに便利です。

連絡先QRコードの入力



種別を電話番号・メール・SMSから選択

ドロップダウンで選ぶだけ。用途に応じて使い分けます。



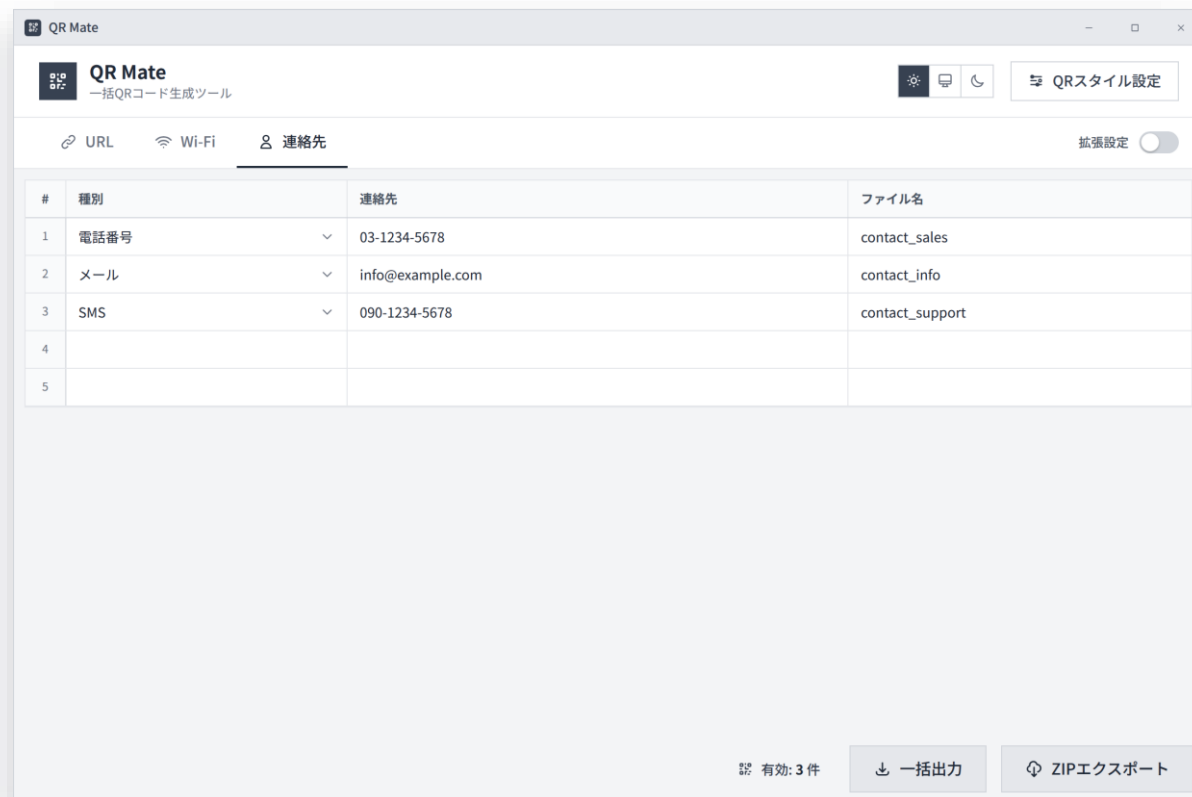
連絡先の値を入力

電話番号・メールアドレス・SMS番号を入力します。



スキャンすると発信・作成画面が自動起動

電話アプリ・メールアプリ・SMSアプリがそのまま開きます。



こんな時に便利

名刺やパンフレットの問い合わせ先、部署ごとのサポート窓口一覧など、連絡先QRコードをまとめて作りたい方に便利です。

Excelライクな表操作の基本

スプレッドシートUI「VoxSheet」を採用。Excelの基本操作がそのまま通用するので、新しい操作を覚える必要がありません。



クリック / F2 で編集開始

セルをクリック、または直接文字を入力すると編集が始まります。



コピー&ペーストに対応

Excelや他のツールで作った表データを、そのまま貼り付けられます。



複数セルをまとめて選択

Shift+クリックで範囲選択、Ctrl+クリックで複数範囲を選択できます。



列幅を自由にリサイズ

列の境界をドラッグして、見やすい幅に調整できます。



予備行が自動で追加される

最終行に入力すると、その下に新しい空行が自動で追加されます。



Undo / Redo に対応

Ctrl+Z / Ctrl+Y でいつでも操作を取り消し・やり直しできます。



こんな時に便利

「初めて使うツールで操作に迷いたくない」という方でも、使い慣れたExcel感覚でそのまま入力を始められます。

右クリックメニューで行を操作する

行の挿入・削除

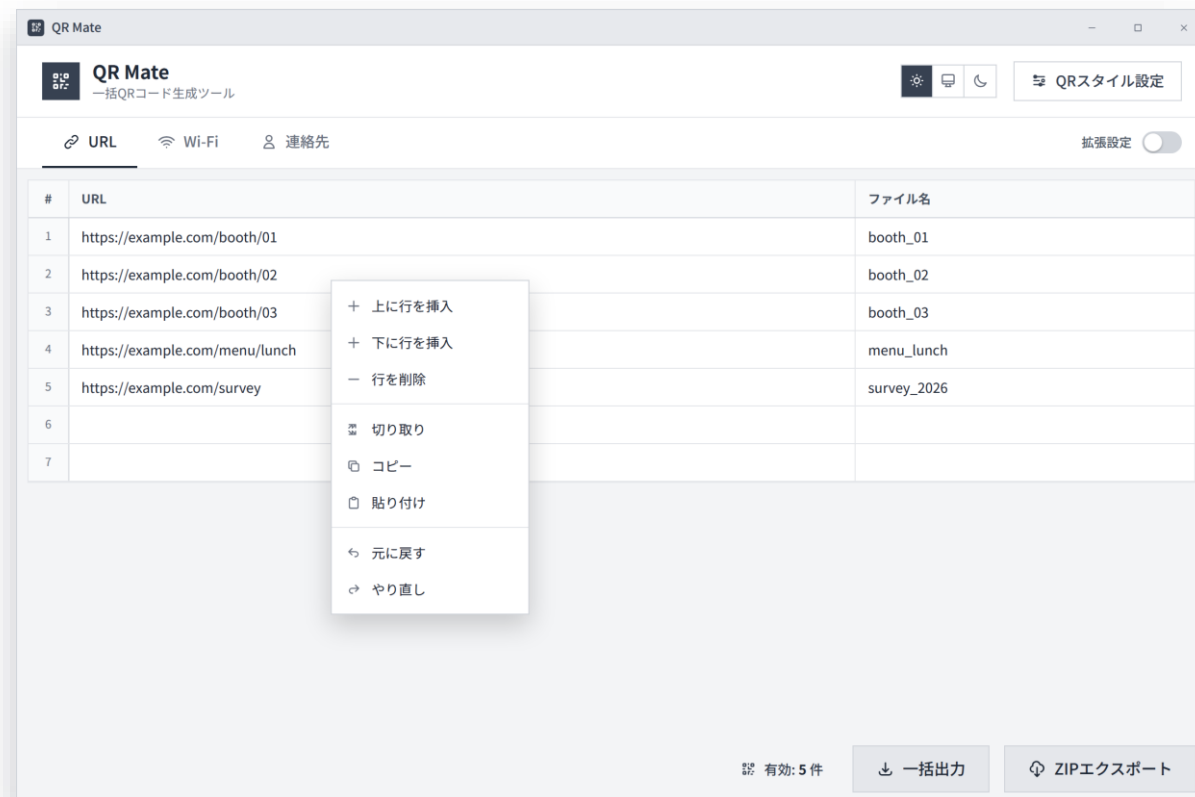
「上に行を挿入」「下に行を挿入」「行を削除」で行数を調整。

切り取り・コピー・貼り付け

Ctrl+X/C/Vにも対応。他の行や別ツールとのやり取りに便利。

元に戻す・やり直し

操作を間違えても、メニューからすぐに取り消せます。



こんな時に便利

コピーしたデータの順序を入れ替えたい、行を追加して途中でデータを差し込みたい、といった編集作業がマウス操作だけで完結します。

入力ミスを防ぐ仕組み

QRコードの生成に失敗する主な原因は入力ミス。QR Mate は、入力の時点でミスを防ぐ仕組みを備えています。

仕組み	内容	防げること
ドロップダウン選択	セキュリティ種別・連絡先種別・形状などは選択式	表記ゆれ・タイプミスによる生成失敗
カラーコード検証	#RRGGBB形式以外の入力を即座に却下しメッセージ表示	不正なカラーコードによるエラー
既定値の自動補完	最初の入力時にファイル名や選択肢を自動補完	ファイル名の入れ忘れ
出力前チェック	ファイル名の禁止文字・重複を出力前に検出(詳細はIV章)	出力してから気づく失敗



こんな時に便利

大量のデータを入力していると、どうしても表記ゆれやタイプミスが発生しがち。QR Mate は入力の段階でミスの芽を摘むため、「出力したら半分近くが失敗していた」という事態を防げます。

タブの切り替えとデータの保持



タブ別にデータを保持

URL・Wi-Fi・連絡先、それぞれのタブへの入力内容は個別に保持されます。タブを切り替えても、入力済みのデータが消えることはありません。



予備行の自動追加

初期状態では10行が用意され、最終行に入力すると自動で新しい空の予備行が追加されます。行数を事前に増やしておく必要はありません。



有効行の自動判定

必須項目とファイル名が入力された行だけが「有効行」として扱われ、出力対象になります。空行や入力途中の行は自動的に除外されます。

※ 入力したデータそのものは、アプリを終了すると消えます(永続保存には対応していません)。詳しくは付録「制限事項」をご覧ください。

キーボードショートカット一覧

操作	キー
セル編集開始	F2 または直接入力
確定して下のセルへ	Enter
編集をキャンセル	Escape
切り取り	Ctrl + X
コピー	Ctrl + C

操作	キー
貼り付け	Ctrl + V
元に戻す	Ctrl + Z
やり直し	Ctrl + Y
範囲選択	Shift + クリック
複数範囲を選択	Ctrl + クリック



こんな時に便利

Excelやスプレッドシートに慣れている方なら、ショートカットを新しく覚える必要はほとんどありません。

02

デザイン(スタイル設定)

QRコードの色・形状・グラデーション・中央ロゴまで、見た目を自由にカスタマイズする方法を解説します。



スタイル設定の基本(ドラフト方式)

「QRスタイル設定」からモーダルを開く

ヘッダー右側のボタンから、共通デザインの設定画面を開きます。

変更はプレビューに即時反映

左側のプレビューを見ながら、右側の設定を調整できます。

「適用」を押すまでは確定しない

「キャンセル」「×」「ESC」「背景クリック」のいずれでも変更を破棄できます。



こんな時に便利

「試しに色を変えてみたら失敗して元の設定が分からなくなった」という心配がありません。納得いくまで気軽に調整できます。

サイズ・余白の設定

QRコード画像全体の大きさと、画像の周囲に確保する余白を数値で指定します。

項目	設定範囲	既定値	補足
QR画像サイズ	64 ～ 1024 px	256 px	印刷物なら大きめ、画面表示なら控えめが目安
余白	0 ～ 64 px	10 px	余白が狭すぎるとスキャン精度が落ちる場合あり

-  範囲外の数値を入力すると、自動的に範囲内の値へ補正されます。
-  空欄など数値以外への入力、ドラフトへ反映されません(フォーカスを外すと直前の値に戻ります)。



こんな時に便利

名刺に載せる小さめのQRコードから、ポスターに使う大きなQRコードまで、用途に合わせたサイズをその場で調整できます。

点・四隅の形状カスタマイズ



対象	選べる形状
点(ドット)	丸み / ドット / クラシック / クラシック(丸み) / 四角 / 特に丸く
四隅の四角	ドット / 特に丸く / 四角
四隅の点	ドット / 四角

QRコードは「点」「四隅の四角」「四隅の点」という3つのパーツで構成されており、それぞれ独立して形状を選べます。



こんな時に便利

角ばった印象を丸くやわらかくしたり、ブランドロゴの雰囲気に合わせてたりと、細部の形状までデザインを統一できます。

色とグラデーション

単色はカラーピッカーかカラーコードで指定

点・四隅の四角・四隅の点・背景、それぞれ個別に色を設定できます。

グラデーションにも対応

2色を指定し、線形(角度0〜360°)または放射状から選べます。

不完全な入力は反映されない

#RRGGBBが正しく揃うまでは確定せず、誤操作で色が崩れません。



こんな時に便利

企業のコーポレートカラーに合わせたQRコードや、グラデーションを効かせた華やかなデザインなど、配布物のトーンに調和させたい場合に便利です。

中央にロゴ画像を入れる



PNG/JPEG/GIF/SVG/WebPに対応

「画像を選択」からロゴなどの画像ファイルを指定します。



読み取り性は自動で確保

画像設定時は誤り訂正レベルが自動でH(30%復元)に引き上げられます。



「画像を削除」でいつでも解除

画像サイズはQRコード全体の30%、周囲2pxの余白が自動で確保されます。



こんな時に便利

企業ロゴや店舗のマークをQRコードの中心に配置することで、単なる案内表示ではなく「ブランドを感じさせるQRコード」に仕上げられます。

03

拡張設定(行ごとのスタイル)

行ごとにQRコードの色や形を変えたいときに使う、応用機能を解説します。



行ごとに色・形を変える



「拡張設定」をONにすると7列が追加

ドット・角四角・角ドットの形状/色と背景色を、行ごとに上書きできます。



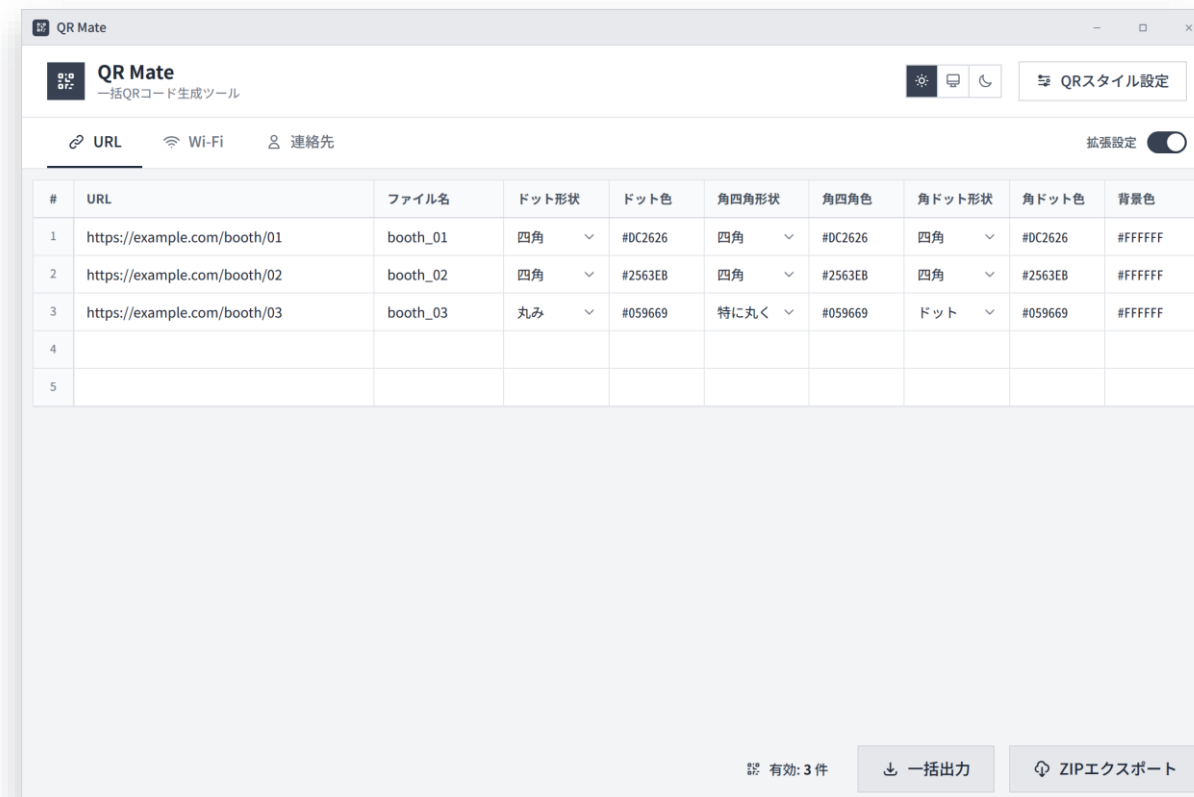
初期値は共通スタイルを引き継ぐ

入力済みの行には、共通設定の現在値が既定値として自動で入ります。



OFFにしても入力データは消えない

トグルを切ってもURL等のベース列のデータはそのまま保持されます。



こんな時に便利

展示会場のエリアや商品カテゴリーごとに、1件ずつ手作業で設定を変える手間なくQRコードを色分けできます。

04

出力(エクスポート)

入力したデータをQRコード画像として書き出す方法と、失敗を防ぐ仕組みを解説します。



一括出力とZIPエクスポート

画面右下の2つのボタンから、有効行すべてのQRコードを一度に書き出せます。



一括出力

選んだフォルダに、QRコードを1件ずつ「ファイル名.png」として個別保存します。

ユースケース

生成したQRコードを、あとで個別に選んで使いたい場合に



ZIPエクスポート

1つのZIPファイル(既定名 qrcodes.zip)にまとめて保存します。

ユースケース

メールでの送付や、まとめての受け渡しをしたい場合に

出力形式はPNG 固定・誤り訂正レベルはM(中央画像設定時はH)です。

出力前の自動チェック

出力を実行すると、まずファイル名を検証します。問題がある行は出力対象から除外され、理由が提示されます。

チェック内容	該当例	結果
使用できない文字	¥ / : * ? " < > や制御文字を含む	その行のみ失敗として記録
末尾の禁則文字	ファイル名の末尾がドット・空白	その行のみ失敗として記録
重複ファイル名	同名(大文字小文字は同一視)が2件以上	2件目以降を失敗として記録

こんな時に便利



エラーになった行があっても処理は止まりません。問題のない行は正常に出力され、失敗した行だけが「行番号・ファイル名・理由」とともにあとで通知されます。数百件を出力していても、直すべき箇所だけをすぐに特定できます。

進捗表示とキャンセル



件数と進捗率をリアルタイム表示

「〇件 / 〇件完了」とパーセンテージ、プログレスバーで状況が分かります。



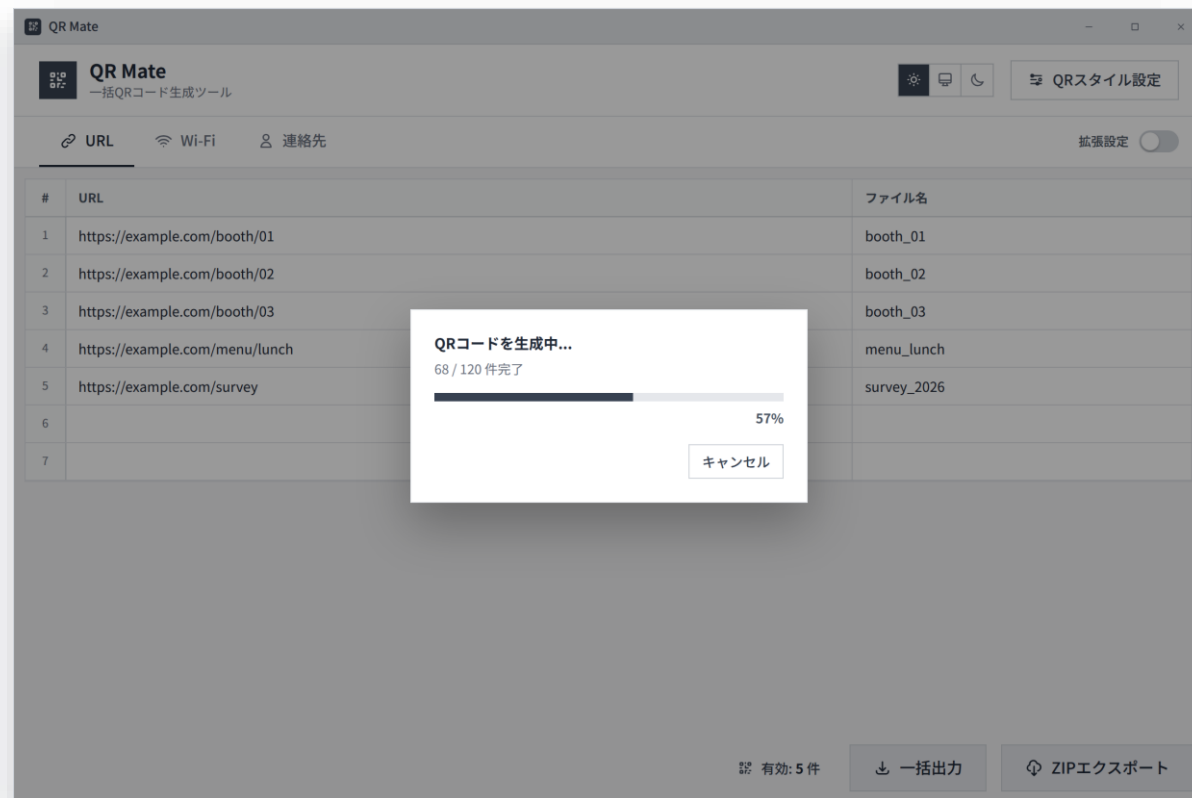
「キャンセル」でいつでも中断

処理中のチャンクが終わり次第、安全に中断されます。



ZIPは中断時に書き込まれない

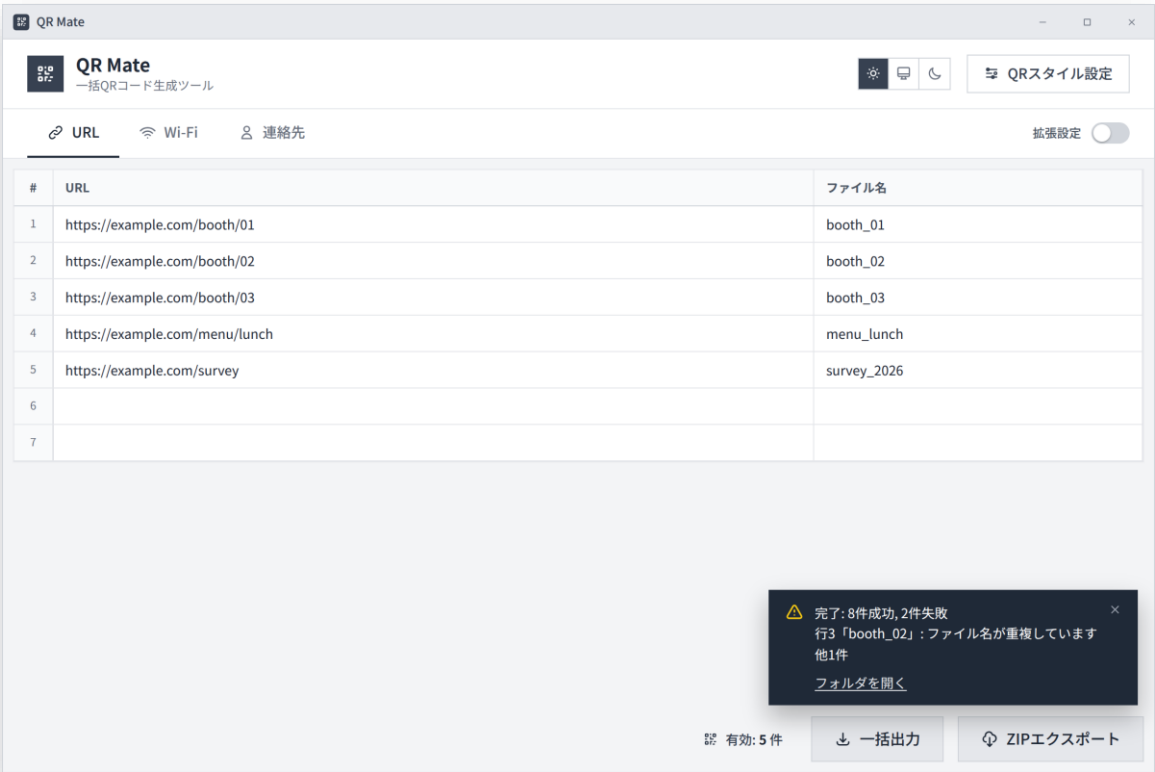
キャンセル時・全件失敗時は中途半端なZIPファイルを残しません。



こんな時に便利

QRコードは4並列で生成されるため、数百件でも比較的短時間で完了します。処理中も操作をブロックされず、必要ならその場で中断できます。

出力結果の通知(トースト)



結果	表示	時間
全件成功	緑・件数 + 「フォルダを開く」	5秒
一部失敗	黄・成功/失敗件数と理由の内訳	8秒
全件失敗	赤・失敗理由の内訳	8秒
キャンセル	青・中断までの成功件数	3秒

失敗の内訳は「行番号「ファイル名」: 理由」の形式で、最大3行+残数を表示します。



こんな時に便利

「どの行が失敗したのか」がひと目で分かるので、原因を直してすぐに再出力できます。

05

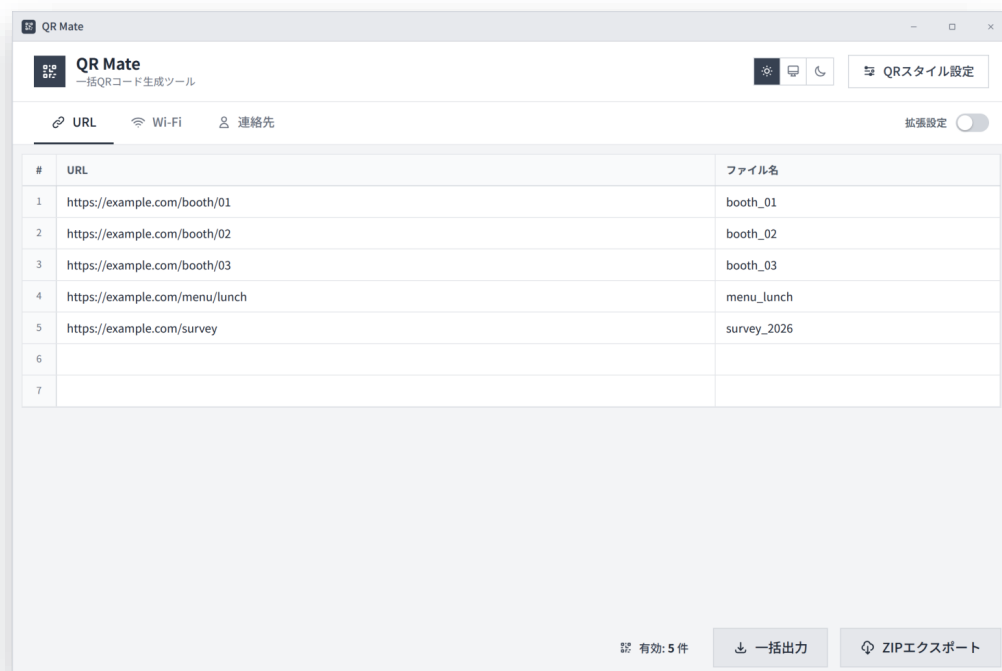
環境設定

テーマ切り替えなど、画面表示に関する設定を解説します。

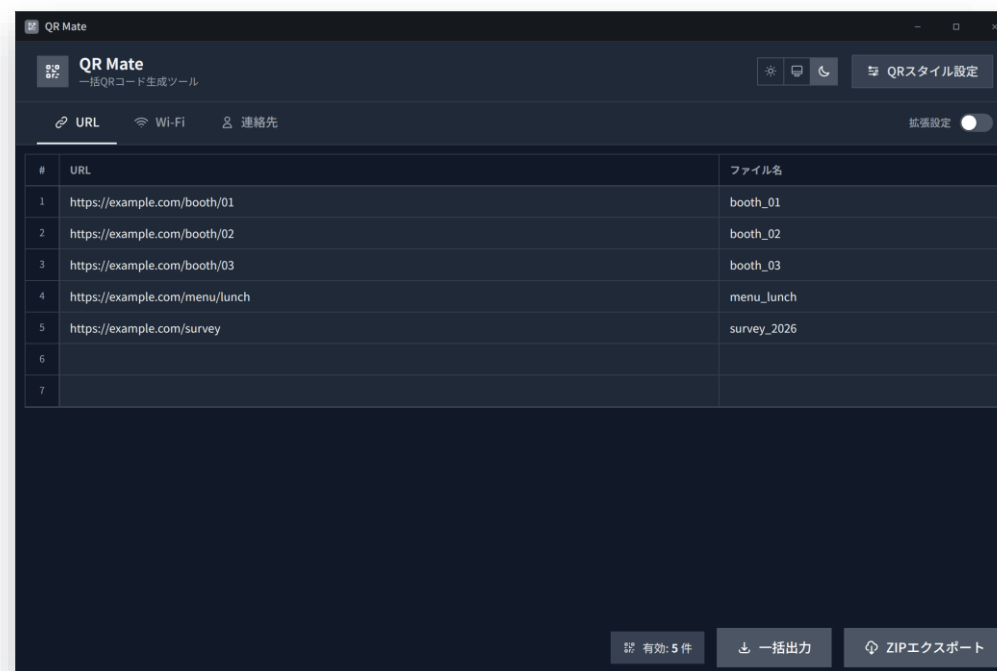


テーマ切り替え(ライト/ダーク)

ヘッダー右側の3値セレクトから、画面の配色を切り替えられます。



ライト



ダーク

既定

システム追従(OSの設定に自動で合わせる)

リアルタイム追従

システム追従を選択中は、OSのテーマ変更に即座に反応

保存・復元

ライト/ダークを明示的に選ぶとその設定が保存され、次回起動時に復元

06

付録

データ形式のリファレンス、制限事項、よくある質問をまとめています。



データ形式リファレンス

各データタイプが、QRコード内部でどのような形式にエンコードされるかの技術リファレンスです。

タイプ	エンコード形式
URL	入力値をそのまま使用
Wi-Fi	WIFI:S:{SSID};T:{WPA WEP nopass};P:{パスワード};;
連絡先	tel: / mailto: / sms: + 入力値

-  Wi-Fiの特殊文字(¥;,:)は自動的にエスケープされます。
-  セキュリティが「なし」の場合、パスワード欄(P:)は出力されません。
-  誤り訂正レベルは既定でM(15%復元)、中央画像を設定するとH(30%復元)に自動で切り替わります。

対応OS: Windows 10以降 | 出力形式: PNG固定 | 動作: 完全オフライン・データ送信なし

制限事項・注意点

安心してお使いいただくために、現時点でQR Mateができないことを明記します。



入力データは保存されない

行データはメモリ上にのみ保持され、アプリを終了すると消えます。作業を中断する場合はご注意ください。



ウィンドウ状態は保存されない

ウィンドウの大きさ・位置は毎回既定値(800×600)で起動します。



QRコードの読み取り機能はない

QR Mateは「作る」ための専用ツールで、スキャン(デコード)機能はありません。



出力形式はPNGのみ

SVGなど他形式での書き出しには対応していません。

※ 今後のアップデートで対応が検討されている項目です。最新情報は配布元をご確認ください。

よくある質問

入力したデータは、次回起動時にも残っていますか？

いいえ。入力データはメモリ上にのみ保持され、アプリを終了すると消えます。長時間の作業は、こまめな出力をおすすめします。

「一括出力」ボタンが押せません。

有効行(必須項目とファイル名が入力済みの行)が0件の場合、ボタンは無効化されます。データ入力状況を「有効: ○件」で確認してください。

出力したQRコードが読み取れません。

中央画像を設定した場合は誤り訂正レベルが自動でHに上がります。それでも読み取れない場合は、余白やサイズの設定を見直してください。

インターネット接続がなくても使えますか？

はい。QRコードの生成からファイル出力まで、すべてPC内で完結するため、オフライン環境でも問題なく利用できます。



お疲れさまでした。

これでQR Mateの全機能を確認しました。困ったときは、また本マニュアルにお戻りください。



データ入力



デザイン



出力



付録